

和



和-ガン さわやかなあいさつ 文武両道 光る汗！

野木町立野木中学校 学校だより

令和5年度 1月号

文責:永井啓之

いよいよ令和6年(2024年)となりました。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

1月1日に能登半島地震が発生し、多くの方々が被災されました。今も非難を余儀なくされている方々に対してお見舞いを申し上げるとともに、お亡くなりになられた方々に心より哀悼の意を表します。

1月9日の始業式では、「被災地で生き抜いて頑張っている中学生たちが、自らも身を寄せている避難所で、今、できることは何かを考え実行しているニュースに感動している」という話をしました。命、生きるということ、今を精一杯頑張ることの大切さについて考えさせられます。野木中生には、「今できることを一生懸命に頑張ることが大切だ」ということを伝えました。

さて、今年の干支は甲辰(きのえたつ)。天高くのぼる龍のように、辰年には「運気の上昇」「景気が上向く」などといった言い伝えもあるようで、物事を好転させる縁起のいい年だそうです。さあ、本校の生徒たちはどのような勢いを見せてくれるのか、今年も全力で支えていきますので、皆様の応援をお願いいたします。

2学期の終業式(12月25日)で生徒たちにこんな話をしました。

今、各学年の代表が2学期の反省と抱負を述べてくれました。それを聞いて、2学期、こんなことがあったなと振り返った人も多いでしょう。私も皆さんの文武両道の輝きからたくさんの感動をもらいました。ありがとう。ところで、反省という言葉と後悔という言葉は似ていますが随分違います。後悔は悔いが残るというように過去にこだわる面が強いですね。でも反省は過去を顧みながら次へとつなげていく意味合いが強くなります。だからこそ反省と抱負としてセットで代表の3名が述べてくれたわけです。過去は変えられませんので、今、そしてこれからをどうするか、反省をもとに未来へと進んでいくのです。大谷翔平が「憧れるのをやめましょう」と言いました。それにちなんで皆さんには「人と比較するのはやめましょう」という言葉を贈ります。例えば、友達が「10時間勉強した」と聞けば自分と比較して焦り出す人もいるかもしれません。でも自分は2時間の勉強時間でも、その密度や質が違うかもしれません。比べる対象は他人ではなく自分自身としてはどうでしょうか。人と比べるのではなく、過去の自分と比べて今どうすべきか、これからどうするか、を考えることが大切です。そうやって自分を高めていってほしいと願っています。3年生はいよいよ勝負の3学期。野木中最高学年として後輩にその背中を見せて君臨してほしい。2年生は4月から最高学年。自覚をもって3年生からたすきを受け継いでほしい。1年生には先輩を見習いながら新入生を助け、野木中学校を支えていってほしい。皆さんにとっていい年になることを願っています。

家庭教育学級

12月20日(水)の「しめ縄飾り作成」をもちまして、令和5年度の家庭教育学級が無事、閉級しました。今年度は昨年度の内容に、新たに「ピザ焼き体験」を加え、計6回開催しました。どの回も参加の皆様方は、楽しみながら充実した活動をすることができました。来年度も、多くの保護者の方が入級し、参加して下さることをお待ちしております。(



教頭)

野木町教育研究会全体研修会

教諭 内地留学研究成果発表 1月10日(水) エニホール

令和5年度野木町教育研究会全体研修会において、教諭が前期(令和5年4月から9月)内地留学の研究成果を町内全教員に対して報告し、高い評価を得ました。

私は「中学生における不登校対応の在り方」という研究主題を設定し、未然防止の取組と不登校生徒への対応に着目して研究を進めました。日々の学級経営に傾注し、生徒にとって居がいのある教室にするための雰囲気づくりを行うことや、生徒や保護者に寄り添い続けていくことの重要性について発表しました。研究成果を意識して今後も職務にあたって参ります。(

教諭)

